

利用・用途・応用分野

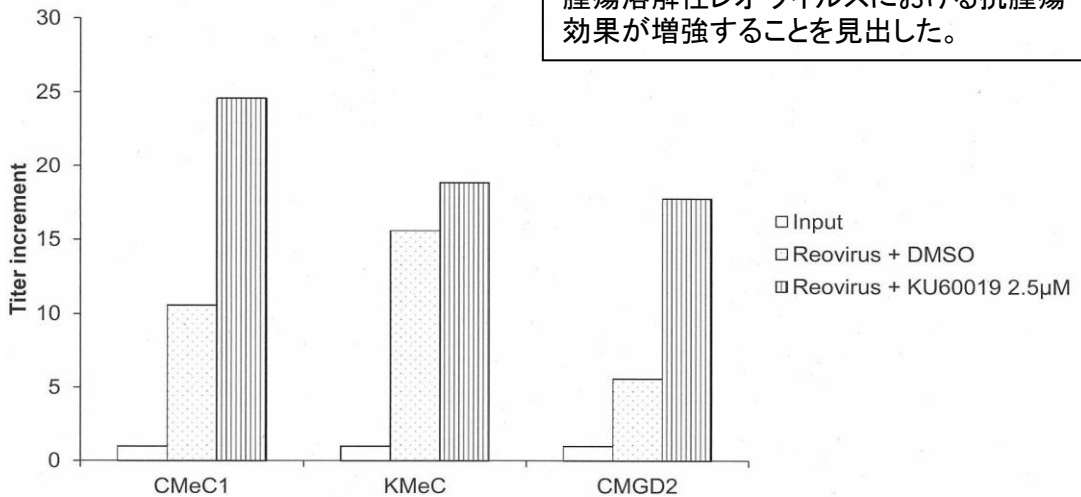
無料開放特許

犬の腫瘍の治療、腫瘍溶解性レオウイルス療法の抗腫瘍効果を増強する併用治療

目的・課題

人と同様、犬の腫瘍の発生が増加している。腫瘍溶解性ウイルス療法において、抗腫瘍効果を増強する薬剤を探索することを目的とする。

「イヌの悪性黒色腫細胞株CMeC1にレオウイルスとATMキナーゼ阻害剤を併用投与して培養した場合のウイルス産生量」



□ Input
□ Reovirus + DMSO
▣ Reovirus + KU60019 2.5µM

研究概要・アピールポイント

- ◆ 本発明の腫瘍溶解性ウイルス抗腫瘍効果増強剤を用いれば、腫瘍溶解性ウイルスと併用することで抗腫瘍効果を高めることが可能となる。
- ◆ 腫瘍溶解性レオウイルス療法の実施には、標準的に利用できる
- ◆ ATMkinase阻害剤によるレオウイルス抗腫瘍増強効果は、医療・獣医療において腫瘍の新たな治療戦略として導入できる可能性がある。

◆ お問い合わせ先 ◆

有限会社山ロティ・エル・オー TEL: 0836-22-9768 E-mail:tlojim@yamaguchi-u.ac.jp